

7月の「よりよい学校にするためのアンケート（保護者アンケート）」にご協力いただき、ありがとうございました。今回は、アンケート結果の中から全体的な傾向と分析・対策、ご家庭との連携が必要な点についてお伝えします。

そして、今一度、ご家庭での時間の使い方についての確認をお願いします。



①第1回よりよい学校にするための保護者アンケート結果

～家庭での時間の使い方を再確認をお願いします～

全体的な傾向：○肯定的な意見が84%以上の項目は、全23項目中19項目でした。
学校の教育活動に対して、概ね保護者の方から良い評価をいただいていると考えられます。

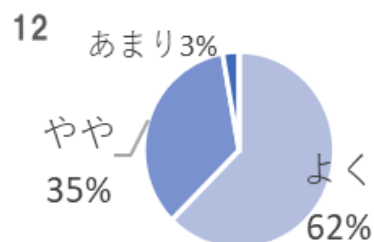
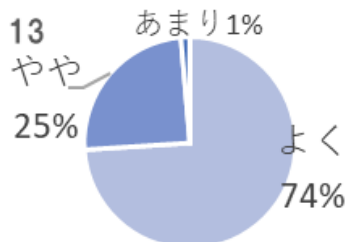
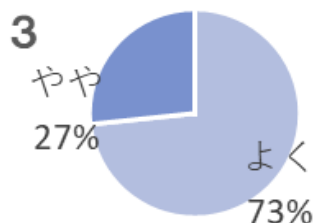
1、肯定的な回答の意見が多かった項目

（肯定的な意見「よくできている」「ややできている」の合計）

③ 学校は児童が主体的に考え、グループやクラスで話し合うことで自分の考えを広げたり深めたりする授業に取り組んでいると思いますか

⑬ 学校は遊びや掃除など縦割り班活動の場を設定し、他の学年の友達と楽しく活動したり、協力してやり遂げたりするよう工夫していると思いますか

⑫ 学校は、児童がよりよい学級、学校、地域にするために、自ら考え、アイデアを出し合い、学校行事の工夫や地域での実践に取り組んでいると思いますか



分析

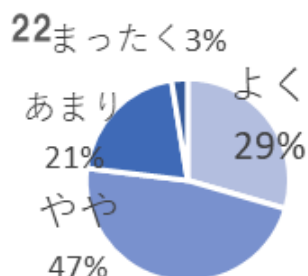
肯定的な意見（「よくできている」「ややできている」の合計）が91%以上の項目は、全23項目中17項目ありました。

上記以外にも、項目⑰（保護者・地域との連携、親身になって迅速対応）へは98%、項目⑪（「あいさつプラス一言」「ほかほかことば」の推進、人権教育月間設定など豊かな心づくり）へは95%と高い結果となりました。

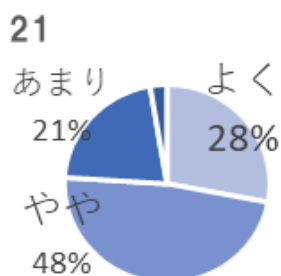
これは、学習面では、学習司会に取り組み、児童が主体的に学習に向かえる授業への改善に努めてきたこと、担任がしっかりと子どもに寄り添い話を聞き、何かあれば納得できるよう解決できるように心がけたことや密に保護者連絡を行ったことを評価していただいた結果と考えます。

2、「よくあてはまる」という回答が低い項目

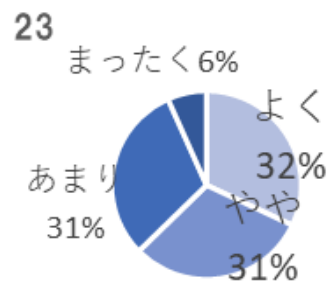
② ご家庭でテレビやゲーム、携帯電話を使う時間について約束を決めていますか



① お子さんは、進んで学習したり、次の日の準備をしたりしていますか



③ お子さんは家庭で読書をしていますか



分析と対策、ご家庭でのご協力のお願い

テレビやゲームの視聴時間が長い、なかなか読書時間が取れていない現状がうかがえます。その対策として、学校では宿題として本や辞書を使っての調べ学習を出す、宿題プラス読書で目標の家庭学習時間を達成させるように声かけをする、「生活ふりかえりシート」を使って生活時間の見直しや有意義な時間の使い方について考えさせる機会を設ける等の取り組みをしています。生活時間を考えていくことは計画性や自制心を育むことへつながります。

また、本校図書館で設定した1・2・3年生の読書目標100冊達成者は18名(51.4%)、4・5・6年生の目標8000ページ読破達成者は5名(11.9%)です。(10月9日現在)。

学校では毎週木曜日は読書の時間、そのうち2回はボランティアさんによる読み聞かせがあり、児童はお話の世界に聴き入り、表情豊かに楽しんでいます。そして、図書委員児童が毎月、工夫したイベントを計画・実施し、図書館へ足を運ぶよう呼びかけています。

習い事や便利なインターネットの普及により、意識しないとなかなか読書時間を取るのには難しいかもしれません。便利な機器を使用し情報を活用する能力は必要ですが、読書により語彙を豊かにしたり、登場人物の気持ちを考えたり、想像を膨らませたりすることは情緒を豊かにすることにもつながります。

「読書の秋」、お忙しい中とは存じますが、「今、どんな本、読んでいる？」等の声かけや、本の世界をお子さんと楽しむ時間を意識して作り出す等のご協力をお願いします。

② 学力向上に向けての分析と取り組み

4月のコロナ感染予防の休校により、全校一斉の小学6年生対象「令和2年度全国学力・学習状況調査」は実施されませんでした。本校は配布された問題用紙を使って、教科に関する調査(国語と算数の2教科)と質問紙調査(アンケート)を実施しました。

結果を全国、県と比較はできませんが、本校6年児童は国語、算数とも全体的には良くできていました。国語・算数とも全問題に対して無回答率0%、国語では資料を基に字数制限に依じての記述、算数では基礎的な数量関係や図形の知識理解ができています。

しかし、国語では、①事実と意見を区別して記述する問題、②文の中の修飾と被修飾の関係をつめる問題、③文の意味から漢字を正しく書く問題の正答率が低かったです。算数では、①直径から円周の長さを求める問題、②基準量と比較量の関係を表した図から百分率を求める問題、③2つの棒グラフから読み取ったことを基に理由を記述する問題の正答率が低かったです。職員研修で結果分析と対策を共通理解し、授業改善へ生かしていきます。

(裏面に、本校6年児童の正答率が低かった問題を掲載しています。ぜひご一読ください。)